

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 196 2008年7月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

「核兵器のない世界」に向けて

‘08年原爆と人間展

とき 8月1日(金)～7日(木)

ところ 県南生涯学習センター

2日(土)はピースデー

(映画・平和使節団報告・被爆者の証言)

4日(月)は休館日

主催 ニコエコデイコ実行委員会 後援土浦市・土浦市教育委員会

ヒロシマ・ナガサキの被爆から60年目の2005年から土浦で開催してきた「原爆と人間展」は今年4回目になりました。1955年の第1回原水爆禁止世界大会以来核兵器廃絶と被爆者救済を訴える被爆国日本の声を世界に発信し続けてきました。今も苦しんでいるかたたちはすでに平均年齢74歳になり、毎年原爆症のため亡くなる人が数十人を数えます。日本被団協の粘り強い運動によって、被爆者援護の施策は少しずつ拡充されてきましたが、まだまだ原爆症認定は25万人の被爆者のうち1パーセントにも満たないと言います。2003年から始まった集団訴訟は305人になり、大阪、広島、名古屋、仙台、東京、熊本で勝訴し、大きく前進しました。被爆64年の今年もなお認定の被害地域拡大や在外被爆者への適用などの課題が残されていると言います。

いま核兵器は2万6千発と言われ、その95パーセントを米ロ2カ国が保有しています。1968年67カ国によって核不拡散条約(NPT)が締結され、95年、2000年の再検討会議、2005年には800人の日本代表団が要請行動に参加、再検討会議において「廃絶の明確な約束」が合意されています。2010年の会議に向けてたゆまず前進を勝ち取りましょう。

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

08年平和行進（石岡 土浦コース）終了

7月4日（金）国民平和行進の石岡・土浦コースが無事終了しました。早朝の雨は予想外の晴天に変わり、真夏を思わせる暑さの中、行進団は予定よりも遅れて亀城公園に到着しました。新婦人の用意してくれたおにぎりやキュウリの浅漬、平和の会の冷たいウーロン茶で昼食を済ませた後、歓迎集会がおこなわれました。久松市議、被団協の黒川氏の歓迎のあいさつ、土浦市長のメッセージ代読の後、礼文島からの通し行進者東京ほくと医療生協の森悦子さんのあいさつを受けて、午後の行進に出発しました。小岩田の小休止



亀城プラザを出発する行進団

では例年どおり保健生協といばらきコーポポポの会の麦茶、九条ドーナツなどの接待を受け、陸上自衛隊補給基地では阿見平和の会の水野秧一郎氏から基地の説明を受けました。終点の荒川沖では、つくばへの引継ぎ集会がおこなわれ、龍ヶ崎原水協の藤沢代表に行進旗が渡されました。

原水爆禁止世界大会（広島）へ行きませんか

8月4日（月）開会総会 14:00～19:00

5日（火）分科会・分散会・動く分科会

6日（水）ヒロシマデー集会（閉会総会）

10:30～13:00

灯籠流し は 19:30～20:30（自由参加）

活動ごよみ

7・6 茨城県母親大会（総和高校）

7・15 平和の会理事会（保健生協事務所）

8・1～7 原爆と人間展

8・2 ピースデー

8・15 2008平和の集い

8・19 平和の会理事会（未定）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください